2026年度　お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学　専攻・　心理学　コース

一般入試、外国人留学生入試、
学士・修士一貫教育トラック特別選抜
専門試験（外国語を含む）

試　験　日　：　2025 年 9 月 7 日（日）

試 験 時 間　：　9 時 30 分 ～ 11 時 30 分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。

2. 問題1と問題2には、それぞれ別の答案用紙を用いること。

3. 答案用紙の左上の問題番号欄に問題番号を明記すること。
   例：問題1

4. 問題1、問題2にはそれぞれ複数の問が含まれる。解答する問の順序は任意だが、問の番号・記号を明記してから解答を記載すること。 例：(1)問1

5. 答案用紙の表面に書き切れない場合、裏面も解答欄として用いてよい。

問題１

（１）以下の英文に関する問１～問３の設問に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

（出典：Beloe, P. et al. (2020). Adaptive working memory training can reduce anxiety and depression vulnerability in adolescents. *Developmental Science, 23*(4), e12831. より一部改変）

問１　第１パラグラフを 120 字程度の日本語で要約しなさい。(20 点)

問２　第２パラグラフを 120 字程度の日本語で要約しなさい。(20 点)

問３　第３パラグラフを 120 字程度の日本語で要約しなさい。(20 点)

（2）以下の英文の全文を日本語に訳しなさい。なお、直訳すると意味が通じにくい部分は、意訳してもかまいません。（40 点）

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

（出典：Heppt, B. et al. (2022). Number of books at home as an indicator of socioeconomic status: Examining its extensions and their incremental validity for academic achievement. *Social Psychology of Education, 25*(4), 903-928. より一部改変）

問題２

以下の英文はいずれもアメリカ心理学会が出版した辞典に取り上げられている事項である。
それぞれについて見出しを含めて全文を日本語に訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

（出典：American Psychological Association. (2014). *APA dictionary of statistics and research methods*. American Psychological Association. より一部改変）

2026年度　お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学専攻 ・ 応用社会学コース

（一般入試および外国人留学生入試）

専 門 試 験（外 国 語 を 含 む）

試 験 日 :2025年9月7日(日)

試験時間:　9:30 ～ 12:00

【注意事項】

解答は，問1，問2，問3それぞれ別々の答案用紙に日本語で記入すること。

2026 年度 大学院 人間文化創成科学研究科(博士前期課程) 人間発達科学専攻
応用社会学コース 9 月入試 専門試験(外国語を含む) 一般および外国人留学生入試

問1. 次の英文を読んで,(1)～(3)の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

注) focused interaction: 焦点の定まった相互作用
glean: 知識・情報などを少しずつ集める, 収集する
courtesy: 礼儀正しいふるまい
"recognition": 挨拶, 会釈

(出典: Goffman, Erving, 1963, *Behavior in Public Places: Notes on the Social Organization of Gatherings*, The Free Press, pp. 83-84 より, 一部改変した.)

(1) 下線部①を日本語に訳しなさい。(20 点)
(2) 下線部②"civil inattention"(儀礼的無関心・市民的無関心)について, 本文に即して概念を説明しなさい。(20 点)
(3) 都市における社会秩序と相互作用のありかたについて, その特徴や機能を社会学的に論じなさい。(50 点)

問2.　次の A, B の 2 問のうち，いずれか 1 問を選択して解答しなさい。（最初に A, B のいずれを選択したかを明記しなさい。）（50 点）

A. プラットフォーム労働の可能性と課題について社会学的に論じなさい。なお，プラットフォーム労働とは，組織または個人が，収入を目的にオンラインプラットフォームを利用して他の組織または個人にアクセスし，特定問題の解決や特定サービスの提供を行うものを指す。日本でよく知られているものに Uber Eats や Wolt がある。

B. 犯罪率を高めたり低めたりする要因について，できるだけ多面的に社会学的に論じなさい。なお，犯罪率とは，警察において発生を認知した犯罪件数の人口 10 万人あたりの比率を指す。

問3.　次の①～⑥の人名や概念のうち 4 つを選んで，それぞれ項目の番号を明記してから説明しなさい。（15 点×4 項目）

① ピエール・ブルデュー (Pierre Bourdieu)
② 箱ひげ図 (Box-and-Whisker Plot)
③ ダブルケア (Double Care)
④ レイシズム (Racism)
⑤ 知識社会学 (Sociology of Knowledge)
⑥ 異性愛規範 (Heteronormativity)

2026年度　お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学　　専攻　・　　保育・児童学　　コース

（一般・社会人特別・外国人留学生・一貫トラック　入試）
専門試験（外国語を含む）

試　験　日　：　2025年 9月 7日（日）

試 験 時 間　：　9時 30分 ～ 12時 00分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。

2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。

3. 問題ごとに答案用紙一枚を使用し、問題番号を明記すること。
   ただし、問題内に別途指示がある場合は、それに従うこと。

問題１　次の英文を和訳しなさい。
（ただし、人物の名前および英文の下から５行目のU's は原語のままで良い。）

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

（註　下から５行目 three U's は *uppfostran* (upbringing), *undervisning* (teaching) and *utbildning* (education) を指し、斜体のスウェーデン語の頭文字が U である。）

出典：Olsson, L. M.（2023）*Becoming Pedagogue: Bergson and the Aesthetics, Ethics and Politics of Early Childhood Education and Care.* New York, NY, Routledge.
（p. 180 より出題）

問題２

資料を読み、以下の問いに答えなさい。

（１）傍線部「年齢が私たちの社会で果たしている功と罪」について、筆者はどのように論じているかを簡潔に述べなさい。（150 字程度）

（２）現代の日本において「年齢」の扱われ方にはどのような現状や課題があると考えられるか。筆者による問題提起も踏まえつつ、あなたが考える具体例を挙げて論じなさい。（300 字程度）

出典：岡本夏木「記号としての年齢：その社会的文化的機能」．岡本夏木・麻生武（編）『年齢の心理学――0 歳から 6 歳まで』．ミネルヴァ書房, 2000 年, pp. 12-15. 一部改変.

「法の下に人は平等である」という思想は年齢基準に依存している法の場合、「年齢の下に人は平等である」とおきなおせることになるのかしれない。

たしかに「年齢の下に人は平等たるべし」とのテーゼは、さまざまの他の基準で分割されるときの不平等や不公平を年齢の名によって是正するという点においてきわめて有効であることは認めなければならない。

それは、先に述べてきた「年相応に」という生き方の社会的尊重が、少なくとも「分相応に」という生き方の強制よりもはるかにすぐれていると私が思うのと同じである。「分相応に」という場合の「分」ということをどううけとめるかはむずかしいが、一応、生まれたときすでに決定されている分け前（資質とか身分とか性別）と解するとすれば、人は皆、分相応よりも年相応に生きる方をとるべきであろう。「年相応」ということが、「分相応」の解体に役立つとすれば、それは一つのすぐれた機能を果たすことになる。

しかし、年齢基準制を無条件に民主的なもの、公平なものとして肯定するところにはいくつかの危険がはらまれていることにも注意しなければならない。というのは、年齢基準制の合理性を保証するためには、異なる年齢間の人間どうしは、異なっており、同一年齢に属する人間どうしは同じであって、異なっていてはならないわけである。つまり同一年齢の人間はすべてにおいて画一的であるほど都合がいい。そして、そのことが逆に、同一年齢内の人間はすべてにおいて同じであるべしということを強く要求してくることの危険である。アプリオリな事実認識の強制と、それによる画一的取扱いの合理化が強くはたらいてくることを見逃せない。先に平均化の例としてあげた大学での教員昇任の場合もこの一つであろう。

ここで少なくとも二つの問題をとりあげておく必要があるように思う。

一つは、同一年齢内の人間たちを同一たらしめようとする外的圧力は、一人一人の個性や独自性を無視、あるいはときによっては敵視しようとする傾向を生じかねない。表面的には、一人一人の尊重をうたいながら、実質的には平等の名のもとに機械的画一主義をますますはびこらしてゆく危険にどう対処してゆくか、このことは、今後の諸制度、とくに教育の分野では重要な課題であろう。

現代のわが国の社会状況においては、無学年制や、オープンスクールのシステムをただちに導入することには私は賛意を表しかねるし、また同一年齢のもとでさまざまの条件差をもつ子どもたちが、一つの集団生活を築くことの意義を認めたいが、民主主義と年齢による画一主義が短絡されるときの危険を十分反省しておく必要がある。現在でも、障害児教育では、異なる年齢や発達状態の子どもを同一クラスに置くことによって、また最近は幼児保育で異年齢集団保育時間を設けることによって成果をあげている例などから一般学校教育ももっと学ぶ必要があろう。また、今日の「乗り遅れ」不安ともいうべき異常な教育過熱現象や、進学競争の氾濫を来してきた原因の一つに、こうした年齢の機能をめぐる問題の徹底した論議が避けられてきたことをあげておかねばならぬだろう。そしてそれは教育界にとどまらず、年齢基準制社会の今後のあり方を模索していくにあたって避けることはできない論点だろう。

さらにいま一つ無視できぬ問題がある。先にもふれたように、年齢を基準にとることが、それまでの種々の社会的基準（たとえば男女とか身分とか、階層等のような）がもたらした制限や不平等、差別の軽減にある程度の効果をもたらしたとしても、それが現在の社会体制維持のための役割をになわされているものである限り、そこには大きい危惧が存在している。

年齢の下に平等ということは、正確には同一年齢の下に平等ということである。そこでは他方において、異なる年齢間では不平等（あるいは差別）が是認され前提とされていることである。これについては、先に述べたように、その不平等は、未来の時間的展望を考慮することによって、将来埋め合わされるとしても、危険は、年齢間不平等を温存、護持する基盤として、さらには年齢間差別の合理化の手段として、年齢内平等が与えられてくることにある。同一年齢層の人間は皆平均して同程度の能力、経験、思想をもつと先験的に規定し、故に同一に扱われるべきであるという年齢内平等の発想が、あえて悪い表現を用いるなら、それをエサに、年齢間不平等、年長者による年少者への支配管理体制の強化、年長者の自己安住をはかるための手段として出されてくる場合が多いことこそ、もっとも警戒しなければならない。

このつたないエッセイともつかぬ一文でいいたいのは、年齢が私たちの社会で果たしている功と罪についてである。「年相応に」「年齢の下に平等」という思想のもつ民主主義的役割を評価しながらも一方ではそれがもたらす反動性にも注目しておきたい。いずれにしてもこれから「年齢」をどう扱っていくかは、わが国民主主義の試金石となろう。

問題３

資料を読み、以下の問いに答えなさい。

（１） 傍線部Ａの「気候変動対策の時間切れが迫るなか、果たして私たちはなにをなすべきなのか。」という問いに対して、筆者はどう答えているのか書きなさい。(300 字程度)

（２） 資料で取り上げられている問題に関して、現在、幼児教育において何が求められているのか論じなさい。(300 字程度)

出典：斎藤幸平(2020)『人新世の「資本論」』集英社, pp. 37-42 より一部改変。

問題3資料

資本主義がどれだけうまく回っているように見えても、究極的には、地球は有限である。外部化の余地がなくなった結果、採取主義の拡張がもたらす否定的帰結は、ついに先進国へと回帰するようになる。

ここには、資本の力では克服できない限界が存在する。資本は無限の価値増殖を目指すが、地球は有限である。外部を使いつくすと、今までのやり方はうまくいかなくなる。危機が始まるのだ。これが「人新世」の危機の本質である。

その最たる例こそ、今まさに進行している気候変動だろう。外部の消尽が行き着くところまできた今、日本のスーパー台風やオーストラリアの山火事など、その被害が先進国でも可視化されるようになっているのである。

A 気候変動対策の時間切れが迫るなか、果たして私たちはなにをなすべきなのか。

▼冷戦終結以降の時間の無駄遣い

経済学者ケネス・E・ボールディングはかつて「指数関数的な成長が、有限な世界において永遠に続くと信じているのは、正気を失っている人か、経済学者か、どちらかだ」と述べたとされる。それから半世紀以上がたち、環境危機がこれほど深刻化しても、まだ私たちはひたすら経済成長を追い求め、地球を破壊している。経済学者的な思考は、それほど深く、日常に根づいてしまっているのだ。私たちは「正気を失っている」のかもしれない。

だが、子どもたちは、理性を保っていた。大人たちの気候変動対策の偽善を抉り出したのが、スウェーデン人の環境活動家グレタ・トゥーンベリである。学校ストライキで有名になった当時一五歳の高校生は、政治家たちが人気取りのために「環境に優しい恒久的な経済成長のことしか語らない」ことを厳しく批判したのだ。二〇一八年のCOP24（国連気候変動枠組条約締約国会議）での出来事である。

グレタの主張は、資本主義が経済成長を優先する限りは、気候変動を解決できないというものである。たしかに、そう考えたくなる気持ちもわかる。実際、資本主義は、冷戦体制崩壊後のグローバル化と金融市場の規制緩和で生じた金儲けのチャンスを追いかけることに夢中で、気候変動対策のための貴重な三〇年間を無駄にしてきたのだ。

歴史を振り返れば、当時NASA（米航空宇宙局）の研究者であったジェームズ・ハンセンが「九九%の確率で」気候変動が人為的に引き起こされていると米議会で警告したのは、一九八八年のことだった。さらに、同年にはIPCC（気候変動に関する政府間パネル）が、UNEP（国連環境計画）とWMO（世界気象機関）によって設立された。

ここには、気候変動対策の国際協定締結に向けた希望があった。そして、もしそのころから対策を始めていれば、二酸化炭素の排出量を年三%くらいのペースでゆっくり減らしていく形で、気候変動問題は、十分解決可能だっただろう。

ところが、ハンセンの警告はタイミングがまずかった。直後にベルリンの壁が崩壊し、さらにはソ連が崩壊したことで、アメリカ型の新自由主義が世界を覆うことになったのである。旧共産圏に廉価な労働力や市場を見出した資本主義は新たなフロンティアを切り拓いていったのだ。

だが、経済活動がますます拡大することで、資源の浪費は加速していった。例えば、人類が使用した化石燃料のなんと約半分が、冷戦が終結した一九八九年以降のものなのである。

ノードハウスが甘い見込みで、二酸化炭素削減率に関する件の論文を発表したのも、まさにその時期だ。こうして、気候変動対策のための、貴重な三〇年あまりの歳月が浪費され、状況は著しく悪化してしまった。

だから、グレタがあれほど激しく批判するのは、目先のことだけを考えて、貴重なチャンスを無駄にした大人たちの無責任さに対する怒りからである。そして、それでも依然として、経済成長を優先しようとする政治家やエリートの態度が、彼女の怒りの火に油を注ぐのだ。「あなたたちが科学に耳を傾けないのは、これまでの暮らし方を続けられる解決策しか興味がないからです。そんな答えはもうありません。あなたたち大人が、まだ間に合うときに行動しなかったからです」。

ここまできたら、今のシステムのうちには解決策がない、だから、「システムそのものを変えるべきだ」と、グレタは、COP24の演説を締めくくった。世界中の若者たちは、グレタを熱狂的に支持した。

子どもたちの声に応えようとするなら、私たち大人は、まずは現在のシステムの本質を見極め、次なるシステムを準備しなければならない。もちろん、グレタの言う無策のシステムとは、資本主義のことである。